

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	エネルギー低炭素化促進事業費						予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課						
	事 業 概 要	製紙業の脱炭素化に向けた取組みへの支援や、民間事業者等と連携した水素サプライチェーン構築に向けた実証試験等に取り組むほか、普及啓発の実施により、エネルギー低炭素化の促進を図る。						始期	2023							
								終期	2026							
	K P I	電力・燃料等削減目標設定済事業所の割合														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
			R 4 年 度		目標値	23 %		目標値	32 %		目標値	41 %		目標値	50 %	
		実績値	13 %		実績値	12.4 %		実績値	15.2 %		実績値	19 %		実績値	%	
		ストック /フロー	フロー		達成率	53.91 %		達成率	47.5 %		達成率	46.3 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	140246 千円		最終現計 予算額	6499 千円		最終現計 予算額	5468 千円		最終現計 予算額	千円		
	決算額			99918 千円		決算額	4810 千円		決算額	4485 千円		決算額	千円			
							繰越額	千円		繰越額	千円					
							不用額	983 千円		不用額	千円					
	7 年 度	要因分析	要因 県新エネルギー導入促進協議会での情報共有、事業者の取組支援や各種普及啓発の実施など、事業者の意識改革を後押しする取組みを実施した結果、脱炭素化に向けた取組みの必要性を「強く感じている」事業所の割合が徐々に増加（R7：24.7%、R6：17.5%、R5:17.3%、R4:16.6%）するなど、脱炭素経営の必要性が浸透してきているが、削減目標設定には時間を要すると考えられ、令和7年度は目標未達成であった。													
			総括													
見直し方向性		維持	令和8（2026）年度からは、より事業に関連するKPI「再生可能エネルギー設備等の導入済の事業者の割合」に変更し、本事業の取組を通じて、再生可能エネルギーの導入促進やエネルギー転換等を図り、KPIの向上が可能であると考えている。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項		中小企業脱炭素経営支援事業費						予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課		
	事 業 概 要		脱炭素経営支援コンソーシアムを軸に、脱炭素をコスト・負担とせずに収益や新たなビジネス展開につながる視点を重視し、CO2削減とビジネスモデル等の創出の両立に向けた支援を行うとともに、脱炭素に関するポータルサイトの活用により情報発信力を強化する。								始期	2024	
											終期	2026	
	K P I	中小企業の取組みを促すモデルの創出数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	0 件	目標値	8 件	目標値	16 件	目標値	23 件		
		実績値	件	実績値	件	実績値	8 件	実績値	16 件	実績値	件		
		ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%		
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	68761 千円	最終現計 予算額	63696 千円	最終現計 予算額	千円		
	決算額			千円	決算額	68150 千円	決算額	63186 千円	決算額	千円			
					繰越額	千円	繰越額	千円					
					不用額	510 千円	不用額	千円					
	7 年 度	要因分析		要因									
				総括									
見直し方向性		維持	支援企業予定数の増加はできないが、支援先を選定する際に、県内の脱炭素化を促進するモデルとなりうる企業を選定し、支援を行うことで、県内の脱炭素化につなげる。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

12月補正

事 項		脱炭素型ビジネススタイル転換促進事業費						予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課				
事 業 概 要		エネルギー価格高騰の影響を受ける中小事業者に対し、CO2排出量削減や再エネの創出等につながる設備投資を支援することで、エネルギー使用量とCO2排出量の同時削減や賃上げ原資の確保を図り、企業競争力強化に資する脱炭素型ビジネススタイルへの転換を促進する。								始期	2023			
										終期	2025			
K P I		設備投資支援を受けた事業者（想定30社）の平均CO2排出削減量												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度		目標値	トン	目標値	150 トン	目標値	90 トン	目標値	トン		
		実績値	トン	実績値	トン	実績値	58 トン	実績値	63.4 トン	実績値	トン			
		ストック /フロー	フロー	達成率	%	達成率	38.7 %	達成率	70.4 %	達成率	%			
		コ ス ト		最終現計 予算額	200548 千円		最終現計 予算額	300670 千円		最終現計 予算額	601095 千円		最終現計 予算額	千円
				決算額	99 千円		決算額	196742 千円		決算額	273914 千円		決算額	千円
					繰越額	300552 千円		繰越額	千円					
					不用額	26629 千円		不用額	千円					

7 年 度	要因分析	要因 昨年度を大幅に上回る138件の申請があり、KPIに直結するCO2排出削減効果の高いものから順に36件を採択した。しかし、採択事業者の平均CO2排出削減量は63.4tにとどまり、KPIは未達成となった。公募期間及び予算を拡充し、申請件数は増加した一方で、事業者ごとの削減効果には大きな変化が見られなかった。（なお、2026年度実施事業については2025年に一部執行しているが、チラシデータの作成にとどまっているため、現時点では事業の評価は困難である。） 繰越による終期延長（R7→R8）、R8目標値90t-CO2/社 総括									
	見直し方向性	維持	2026年度実施事業については、「えひめゼロカーボン・チャレンジ企業認定制度」への申請及び認定を要件とすることで、脱炭素への意識の高い事業者からの申請が見込まれることから、CO2排出削減量の大きな案件の掘り起こしに重点的に取り組む。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6

当初

事 項		脱炭素化等資金融資制度運用費								予算主管課		環境・ゼロカーボン推進課			
事 業 概 要	中小企業等が行う脱炭素化等施設整備等の資金の融通を円滑にするため、金融機関に対し、預託及び利子補給を行う。										始期	1970			
											終期				
K P I	融資件数														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	5 件		目標値	5 件		目標値	5 件				
	実績値	3 件		実績値	4 件		実績値	2 件		実績値	5 件				
	ストック /フロー	フロー		達成率	80 %		達成率	40 %		達成率	100 %				
	コ ス ト		最終現計 予算額	78880 千円		最終現計 予算額	79023 千円		最終現計 予算額	79865 千円		最終現計 予算額	千円		
			決算額	76123 千円		決算額	76499 千円		決算額	77124 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円					
								不用額	2741 千円		不用額	千円			
7 年 度	要因分析		要因												
			総括												
	見直し方向性		維持		貸付利率の低い地球温暖化対策枠（0.5%）及び脱炭素先行地域枠（0.3%）の融資需要などを踏まえ、令和9年度予算以降に反映させる。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初

7 年 度	事 業 概 要	バイオマス利活用拡大事業費						予算主管課	環境・ゼロカーボン推進課		
		バイオマスの利活用を推進するため、県バイオマス利活用促進連絡協議会における情報共有、情報交換を行うとともに、エコえひめ・ストッピーポイント制度の運用や各種イベント等での普及啓発活動に取り組む。						始期	2022		
								終期	2025		
	K P I	使用済み天ぷら油回収量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	20000 ℓ	目標値	20000 ℓ	目標値	20000 ℓ	目標値	ℓ
		実績値	14355 ℓ	実績値	16254 ℓ	実績値	19276 ℓ	実績値	20554 ℓ	実績値	ℓ
		ストック /フロー	フロー	達成率	81.3 %	達成率	96.4 %	達成率	102.8 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	11755 千円	最終現計 予算額	7803 千円	最終現計 予算額	1961 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	1207 千円	決算額	912 千円	決算額	1033 千円	決算額	千円
				繰越額	千円	繰越額	千円				
				不用額				928 千円	不用額	千円	
要因分析	要因										
	総括 廃食油の回収の普及啓発を目的とした「エコえひめ・ストッピーポイント制度」について、安定的な油回収が見込めるようになってきたことから、令和7年度をもって県による制度の運営を廃止すると同時に本事業を廃止し、(株)ダイキアクシス・サステイナブル・パワー（以下、ダイキアクシス）に継承することとした。今後は、ダイキアクシスが主体となって制度の運営を行い、県は協力して本制度及びバイオマスの普及啓発を行っていくこととする。										
	見直し方向性										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。